

時間のふしぎは、あなたの想像をこえてゆく

『はじめてまして相対性理論』

出版社：化学同人
ISBN：978-4-7598-2059-1

シェダード・カイド＝サラーフ・フェロン、エドゥアール・アルタリーバ 著 齋藤 慎子・訳 橋本 幸士・監修

はじめて 相対性理論

時間ってなに？ 空間ってなに？



化学同人

現在はまだ実現していませんが、もし人類が光の速さで旅できるようになったら、何万光年も離れた星にも、たった数週間で行けるようになります。ところが、そんな旅から帰ってくると、地球に残った人のほうがずっと年を取っている——そんな不思議なことが本当に起こるのだそうです。この“時間のずれ”を説明したのが、アインシュタインの有名な「相対性理論」です。

この絵本を読むと、その「相対性理論」の考え方が“なんとなくわかる”ようになります。ぜひあなたも、未知の世界にチャレンジしてください。

中央図書館に蔵書があります

中央図書館スタッフが選んだオススメ本

特集テーマ「時間のふしぎを旅する本」

いろんな視点から、タイムマシンはつくれるか探してみよう。

『タイムマシンって実現できる？』
理系厨をきたえる！ はじめての相対性理論と量子論

二間瀬 敏史・監修 出版社：誠文堂新光社 ISBN：978-4-416-61934-6

過去と未来から「ぼく」がやってきた！

『とんだトラブル！？ タイムトラベル』

友乃 雪作・作 おかべりか・絵 出版社：岩崎書店 ISBN：978-4-265-02848-1

『まほろばトリップ 時のむこう、飛鳥』

倉本 由布・著 いつか・装画 出版社：アリス館 ISBN：978-4-7520-0939-9

美術館に展示されていた古い家に入ったサラとティモシー。次にドアを開けるとそこは……。

『夏の魔女』
ルース・チュウ・作 日当陽子・訳 たんじあきこ・絵
出版社：フレーベル館 ISBN：978-4-577-04382-0

タイムマシンによって、きょうりゅうかんさつへしゅっぱつ！

『ぼくのきょうりゅうかんさつ日記』
長崎 真悟・作/絵 真鍋 真・監修

出版社：徳間書店 ISBN：978-4-19-865022-3

おけがわし としょかん
すべて桶川市の図書館にある本だよ！ ぜひ図書館に行って探してみよう！
どこにあるかな？
けんさく 検索してみよう。

たの 楽しかったきのうに もどりたいなあ～
『きのうをみつきたい！』
アリソン・ジェイ・作/絵 蜂飼 耳・訳
出版社：徳間書店 ISBN：978-4-19-864628-8

『時間ってなんだろう？』
よ 読んだらわかる時間のふしぎ

『みんなそれぞれ心の時間』
一川 誠・文 吉野 晃希男・絵
出版社：福音館書店 ISBN：978-4-8340-8772-7

OKEGAWA hon プラス+ は 図書館、本屋さん、イベントスペース、カフェなどがいっしょになった、みんなが楽しく学べるしせつです。イベントスペースでは、いろんな先生が来て、宇宙、南極、動植物、科学実験などを教えてくれるイベントをやっています。図書館や本屋さんがすぐとりにあるのでイベントで学んだことを本ですぐ調べることもできるよ。

OKEGAWA hon プラス+でのイベントの予定についてはこちらをご覧ください▶

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



おけがわマイン 3F
〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-2
OKEGAWA hon プラス+
☎ 048-786-6353 桶川市立中央図書館

発行者：OKEGAWA hon プラス+運営協議会（桶川市・株式会社新都市ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社）
「202607」



おけがわほんぶらす
OKEGAWA hon プラス+



子どもつつしん



桶川市マスコットキャラクター
「オケちゃん」

No.33
不定期発行

88:88 時間のふしぎを旅する本

時はふしぎがいっぱいです。むかしに行ったり、未来をのぞいたり、時間が止まってしまったり……。

本の中では、ふだんはありえない“時のゆがみ”や“時の魔法”に出会うことができます。ときには、過去の誰かと心がつながったり、ときには、時間の外側に立ってしまったり、ときには、科学の目で時間そのものを見つめ直したり。

物語の中の「時間」は、私たちの想像を軽々とこえていきます。そんな“時間のふしぎ”をめぐる旅へ、いっしょに出かけてみませんか。



一度の選択が、未来をまるごと変えてしまう物語

『時間をまきもどせ！』

出版社：徳間書店
ISBN：978-4-19-862627-3

ナンシー・エチメンディ・作 吉上 恭太・訳 杉田 比呂美・絵

もしあなたが「失敗を取り消すことができる機械」を手に入れたらどうしますか？ 主人公のギブはどうしても変えたい「過去」を取り消すために、過去へと旅立ちます。しかし、それは簡単なことではありませんでした——。

この本を読むと、私たちの日頃の行動ひとつが未来にどれだけ影響を与えることになるのか不安になります。そして同時に、選ぶということの重さを深く考えさせられ、自分の行動がつくる未来を見つめ直したくなる一冊です。

川田谷図書館に蔵書があります





時代をこえる「笑い」の冒険

『落語少年サダキチ』

田中 啓文・作 朝倉 世界一・画 出版社：福音館書店 ISBN：978-4-8340-8291-3

この作品は、クラス会で落語を披露することになった小学五年生の忠志が、思いがけず江戸時代へタイムスリップし、本場の落語を直に見聞きすることで落語の魅力にさらに取りつかれていく物語です。

落語というと「なんか古いな、つまらなそう」と思いがちですが、江戸の町のにぎわいや人々の息づかいが感じられる時空をこえたコミカルな冒険が下地になって、たのしく読む(知る)ことができます。

落語を通して少しずつ成長していくサダキチの姿も魅力のひとつ。

これからの冒険もたのしみです(5巻まで刊行中です)。

おけがわとしゃかん 桶川図書館に蔵書があります

友情は時を超える？

『不思議屋敷の転校生』

藤重 ヒカル・作 宮尾 和孝・絵 出版社：金の星社 ISBN：978-4-323-07482-5

クラスに溶け込もうとしないちょっと変わった転校生の玲子と友だちになった優乃たち天文クラブのメンバーは、彼女が丘の上の怪しげな古い屋敷に住んでいることを知り、天文観測のために訪ねることにします。玲子やおじいさんの言動はどこか不思議で、その事情を校長先生は知っているようです――。

小学生の好きな怪談や時間旅行の要素が重なり合い、屋敷に秘められた謎と玲子の正体が少しずつ明らかになっていきます。恐

さとワクワクが交互に押し寄せる、読みごたえのある物語です。

ちゅうおうとしゃかん 中央図書館に蔵書があります

静かな森の奥で、運命の歯車が静かに回りだす――

『時をさまようタック』

出版社：評論社 ISBN：978-4-566-01242-4

ナタリー・バビット・作 小野 和子・訳



8月のはじめ、家を出たいと考えていた少女がいた。同じころ、タック夫婦は10年ぶりに子どもたちと再会するため、馬車を走らせて森へ向かっていた。さらに、ひとりの旅人がその森に足を踏み入れる。まったく関係のないはずの三つの出来事が重なったとき、静かな森で思いがけない事件が動き出す――。

死なない人生って、いったいどんなものだろう。それは本当に幸せと言えるのだろうか。今の科学ではありえないことだが、

「いつか」実現するかもしれない。いや、もしかしたらすでに身近なところで、私たちの知らない“何か”は静かにはじまっているのかも…。

“ひみつの湖”が教えてくれた、勇気と友情の物語



出版社：文研出版 ISBN：978-4-580-82694-6
カレン・イングリシ・作 もりうち すみこ・訳 pon-marsh・絵

ロンドンに引っ越してきたトムは、庭の奥でふしぎな穴を見つけます。姉のステラと降りていくと、そこには見たことのない湖と、一そうのボートが浮かんでいました。

ふたりが足をふみ入れたその世界では、思いもよらない出来事が待っていました。そこで出会った子どもたち、消えた“あるもの”、そして誰かが抱えている秘密。

トムとステラは、手がかりを追いながら、自分たちにできることは何かを考えていきます。ふたりの小さな勇気が、やがて大きな真実へとつながっていく――。

不思議な世界での出会いと、心があたたかくなるラストが光る物語です。

おけがわとしゃかん 桶川図書館に蔵書があります